

四十五回蒼天句会 今月の一句

令和八年七月九日 兼題…夕焼、又は自由

大夕焼歩きて心立て直し 公子

夕焼や親子の帰るシルエット 婦紗子

夕焼や長く伸びたる吾子の影 賢一

夕焼に包まる浜も釣人も 繁一

想い出はやがて褪せゆく梅雨夕焼 孝志

半夏生今日の私をプロデュース 信江

浴衣縫ふ母がぽつりと「雨くさい」 静江

大夕焼マンハッタンの女神像 鎮夫

久方に雄壮夕焼逗子の浜 国祥

トンネルを抜けるや海の大夕焼 隆彦

合掌のかたちに百合の蕾かな 重子

砂町やこんな所に青葡萄 朱美

青嵐葉擦れの音と潮騒と 紹子

桜の実また入院となる知らせ 晴代

夕焼を川のせせらぎ運びゆく 久恵